

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

NO.93



2012年 8月発行

事務局：医療法人栄仁会 宇治おうばく病院内

〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割 32-1

TEL 0774-32-8399 (直)

FAX 0774-32-8399 (直)

e-mail office@kyo-psw.org

HP <http://www.kyo-psw.org/>

【9月例会案内】

「障害者自立支援法がもたらしたもの Part2 ～多様なニーズにどう応えていくか?～」

日時：2012年9月12日(水) 18:30～21:00

会場：ハートピア京都 第5会議室

(京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地)

演者：就労継続支援 B 型施設 医療法人稲門会いきいき・いわくら 川島章さん

NPO 法人京都マック(自立訓練) アディクションセンター 楳原節子さん

NPO 法人プラッツ「ヒュッテ」自立訓練 霜田徹さん

9月例会は、昨年度現場からの声をいただき好評だった「障害者自立支援法がもたらしたもの」の第2弾です。障害者自立支援法が制定されて以降、地域生活を支える事業所はこれまでの在り方から、大きく変更を迫られてきました。大混乱の現場では今、何が起きているのでしょうか。9月例会では、利用者の「多様なニーズにどう応えていくのか?」という切り口から、3ヶ所の事業所のスタッフに、現在行なっている事業内容と利用対象者にどのような支援をされているのかについてご報告いただきます。そして利用者のニーズや、今なお残る課題と今後の事業の展望についてお話いただきます。

医療現場におられる方も、それぞれの事業所にどんな特徴があって、どんな活動をしているのか、どう地域で支えてくれるのかを直に聞いて教えていただけるよい機会になるかと思います。

後半は参加者同士のグループワークも予定しています。課題山積の現状の法制度をどう使いこなして行けば良いか、みなさんで知恵を出し合い情報を交換出来たら幸いです。みなさんと例会でお会いできるのを楽しみにしています。

(障害者自立支援法委員会改め障害者福祉制度委員会)

【10月例会案内】

第3回災害支援について考える会

「京都で災害が起きたら…」

活かそうわたしたちのネットワーク！」

日時：2012年10月27日（土） 14:00～17:00（13:30受付開始）

日時は予定で調整中です。改めてメールでお知らせしますのでご注意ください。

会場：栄仁会京都駅前メンタルクリニック

復職トレーニング専門デイケア「バックアップセンターきょうと」

（〒600-8211 京都市下京区七条通烏丸東入真苧屋町 195 福井ビル 5F）

http://www.eijinkai.or.jp/kyoto/backup_center/

講師：特定非営利活動法人 NPO 愛知ネット

協力 （社）日本精神保健福祉士協会京都府支部

NPO 愛知ネットは、防災災害救援・市民活動支援・まちづくり・社会教育を軸に活動されている団体です。そして、2009年には厚労省の調査研究事業として「地域生活支援事業所のための地域で進める災害時障がい者支援ガイドライン」を作成されています。活動の一環として、災害発生時から生活復旧までの実際に起こるストーリーを設定し、それぞれの役割の人がどのように解決していくのかについてワークショップなどを行い話し合いをするという機会の提供を行っています。

10月例会では、NPO 愛知ネットの方を講師にお招きし、シュミレーションを用いたワークショップを通じて、私たちのまちが災害に遭った場合、私たちの周りでは何が起こり何をしなくてはならないのか？協会員ネットワークを活かして何ができるのか？そして、これからどのようなことが準備できるのか…などについて考える研修会にしたいと思います。

（災害支援検討委員会）

～第1弾 お知らせ～

**2012年度京都精神保健福祉士協会初任者研修
（日本精神保健福祉士協会生涯研修制度 基幹研修Ⅰ）**

京都精神保健福祉士協会では、入会3年未満の方の必修研修として初任者研修を実施しています。今年度より形式をあらため、「京都協会オリジナルプログラム」に「社団法人日本精神保健福祉士協会生涯研修制度基幹研修Ⅰ」を加えた内容を隔年で開催することとなりました。今後、初任者研修は2年に1度の開催となります。そのため、次回の初任者研修が2014年度になりますのでご注意ください。（なお、基幹研修Ⅰに必要なテキストは、当協会が購入費用の一部を補助します。）

日時：2013年1月19日（土） 10:00～18:00

【基幹研修Ⅰ】

2013年1月20日（日） 9:30～18:00

【京都協会オリジナルプログラム】

会場：京都市国際交流会館（特別会議室・研修室）<http://www.kcif.or.jp/>

なお、開始時間・終了時間に関しては現時点での予定となっていますことをご了承ください。また今年度の対象となる 2010 年度・2011 年度・2012 年度に入会された会員の方には、11 月上旬に案内の発送を予定しています。

■ 基幹研修Ⅰの受講について

すでに初任者研修を受講された方々（導入されていない 2007 年度・2008 年度に受講された方、オリジナルバージョンのみの開催であった 2010 年度に受講された方）も、基幹研修Ⅰについては受講いただくことができます。

また、日本協会への入会を希望される方は、受講後翌年度 12 月末までにご入会いただくことで、基幹研修Ⅰ修了とみなされます。さらに 7 月末までに入会いただきますと、京都協会に支給されます入会奨励金が倍額になります。

＊ 社団法人日本精神保健福祉士協会の生涯研修制度は、基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修了することによって認定精神保健福祉士となり、その後 5 年毎に更新研修を受けることによって専門職としての質を担保しようとするシステムです。
京都精神保健福祉士協会では、初任者研修の内容の充実をはかるため 2009 年度より日本協会の基幹研修Ⅰを初任者研修のプログラムに盛り込んで隔年で開催していましたが、今年度より盛り込んだ形を初任者研修とし、初任者研修そのものを隔年にて開催することとなりました。

【総会記念講演報告】

テーマ	： 実践から得たもの～ソーシャルワークは自分との闘い～
講師	： 山本みどり氏 西陣病院 医療社会福祉課課長 介護保険相談室室長 介護支援センター長 社会福祉士（ソーシャルワーカー）
日時	： 2012 年 5 月 27 日（日）14:00～16:30
会場	： ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）大会議室
参加者	： 84 名（協会員および支部構成員 73 名、非会員 11 名）

記念講演は（社）日本精神保健福祉士協会京都府支部との共催です。



2012 年度総会記念講演は、西陣病院で医療ソーシャルワーカーとして業務に携わっておられる山本みどり氏を講師にお迎えして行われました。

講演は、今回のテーマにある「自分との闘い」という意味を考えることから始まりました。“クライアントのために働きたいと思っていても、ソーシャルワーカーの目の前にはいつの時代も常に壁がある。けれどもそれを乗り越えようと自らの専門職性を発揮していくという、そのプロセス自体がソーシャルワークである”、ということを前提と

してあげられました。乗り越えようとするためにはブロックを積んで壁のてっぺんに近づく努力をしていく必要があります。そして、“これで良い”ということは絶対にありえず、常によりよくしていくことを考えなければならない、ということです。

山本氏は、ご自身がソーシャルワーカー5年目に体験したMさんの事例を挙げ、医師との関係における自分との闘いについて紹介くださいました。私たちは事例の世界に引き込まれ、山本氏が主治医と対峙する場面では、私たちも一緒に息を呑み、胸が詰まる思いでした。この体験の中で嬉しかったこととして、山本氏は「社会的に生きづらくなった人を、必要な医療から排除しないしてほしいという願いが叶ったこと」、「医師がそのような人と出会ったときに“まず排除”ではなくソーシャルワーカーの援助を求めてもらえるようになったこと」の2点を挙げられました。医療の現場ではとなくクライエントの真意が軽視されがちであるが、それに最も敏感である職種がソーシャルワーカーであり、さまざまな困難を背負いながらもそれを乗り越えようとしている人たちとのために存在する職種であることを忘れてはならない、というメッセージがありました。

参加者のアンケートからは、「ソーシャルワーカーの原点を振り返ることが出来た」、「自らのクライアントへの関わりを振り返ることが出来た」「自分に向き合うことを丁寧にやっけていこうと改めて思った」、などの感想がありました。私自身もクライアントにきちんと寄り添って支援がしたいと考える一方で、クライアントの真のメッセージに気付けるスキルや困難に対して立ち向かえる強さがまだまだ足りないと痛感することもあり、悩みながらの日々を過ごしています。けれども、今回の講演を聞いて、やはり私はソーシャルワーカーという職種が大切にしている考え方が好きだし、困難を抱えたクライアントにとって必要とされるものであると改めて感じました。そして、その気持ちを持ってこれからもスキルを磨いていきたいと思いました。

今回の講演では、実践している場所は違えど、同じ思いを持つソーシャルワーカー達が集って一つの話を共有できたこと自体も、とても貴重で有難いことと感じました。これから社会保障をめぐる情勢の変化の中でさまざまな困難があると思いますが、その壁に対して一緒に石を積み上げて乗り越えようとする事が出来る仲間を大切にしていきたいと思います。山本さん、みなさん、本当にありがとうございました。

(記念講演担当 川上尚子)

【日本精神保健福祉士協会 京都府支部総会及び全国大会報告会の開催】

2012年7月7日(土)ジョイント・ほっとにて京都府支部総会及び全国大会報告会を開催しました。参加者は19名で、アットホームな雰囲気の中すべての議事は承認されました。そして、2012年6月21日から熊本で行われた全国大会での総会報告や参加された方々からの大会報告を聞くこともでき、残念ながら参加できなかった方々も全国大会の雰囲気を味わうことができました。

(支部担当 畚野)

【ソーシャルワーカーデー参加の報告】

去る7月16日(月・祝)のソーシャルワーカーデーに開催された同志社大学でのイベントに、僭越ながら京都精神保健福祉士協会を代表して参加し、協会のアピールを行なって参りましたので、報告させていただきます。

当日のイベントには、同志社の学生さんを中心に関係機関のスタッフ等で、大きな会場が埋め尽くされるほどの参加がありました。前半は、社会福祉士協会のスクールSW委員会が、ワーカーの活動を「寸劇」で紹介して下さいました。悩める思春期の本人は

もとより学校の先生、家族が苦悩する姿と、それを支えるワーカーの役割を笑いを交えながら大変分かりやすく伝えてもらいました。

その後、各団体のアピールタイムとなりました。社会福祉士会、医療 SW 協会の間に挟まれて、私たちもお時間をいただきました。とても緊張したのですが、実は、この日のために当協会役員などの有志が中心となり、「幅広い PSW の役割を知って欲しい」と、協会の活動をまとめて 5 分ほどのスライドを製作しており、それを初上映させて頂きました。医療・福祉現場だけでなく、教育、行政、司法などでも活躍する PSW の姿は、手前味噌ながら圧巻で、きっと協会員の皆さまもスライドをご覧になったら「私たちってこんなに活躍してるんだ!」とびっくりされること間違いなしです。実際に私もこのスライドを観てエンパワメントされて、この仕事をしていることに誇りを持てたくらいなんです。ですので当日も上映後は、会場から自然と拍手が沸き起こりました。

他の 2 団体の発表も素敵で、自分たちの活動をチラシにして事前に配布されたり、学生目線での質問を受け付けてみたりと、積極的に自分たちの職種を主張されていたのには驚きました。アピール力の素晴らしさに圧倒されつつ、ふと自分が学生の頃を懐かしく思い出しました。元々私は介護福祉士の勉強をしていたのですが、当時から短大の先生に「現場の介護福祉士はせっかく良い仕事をしているのに訴える力が足りなかったり、上手に自己主張できないがために、立場上・所得上とても損をしている。福祉は自己犠牲で行なうてはいけない。遠慮を美德と考えずに、正当な主張なら行なっていくべきだし、その力を養わないといけない」と苦言を呈されていました。残念ながら当時の私は自己主張を行えるだけの勇氣も能力も備えておらず、「私なんかで誰かのお役に立てるのなら…」と遠慮がちに福祉を考えていましたので、その時の先生の叱咤激励はとても新鮮で刺激的で、今でも鮮明に記憶に残っているのです。

今回ソーシャルワーカーデイに参加して、自分の仕事の意義を主張できる格好よさ、その裏にあるたゆまぬ努力と仕事に対する熱意、知力と自信の必要性を他の団体から学び、今の自分を振り返る機会を頂きました。「誰のための、何のための」精神保健福祉士なのか自問自答しつつ、改めて、きちんと役割を主張できる福祉職でありたいと誓った有難い一日になりました。感謝です。今年抱えた宿題を、来年の SW デイまでには何とか克服できるよう、有意義で情熱的な一年にできたらいいのになぁーと思う今日このごろです。

(知名純子)

【リレー職場紹介】

京都府精神保健福祉総合センター
熊取谷 晶さん

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法第 6 条のなかで位置づけられており、設置主体は、都道府県・政令指定都市になります。

京都府においては、京都市民以外の府民を対象として、京都府精神保健福祉総合センターを設置しています。ちなみに京都市はこころの健康増進センターを設置しています。

精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進を図るための総合技術センターの位置づけで、主に企画立案、技術指導及び技術援助、人材育成、普及啓発、調査研究、精神保健福祉相談、組織育成、精神医療審査会の事務、自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳の判定業務等を実施しています。

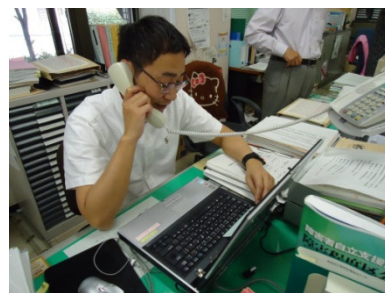
京都府精神保健福祉総合センターは、昭和 57 年 6 月 17 日に京都市伏見区に京都府精神衛生センターとして開設されました。その後、昭和 61 年 8 月にデイケアの通所が

開始され、平成 3 年 3 月には、こころの相談電話が設置され、精神保健福祉法の改正により、平成 8 年から大都市特例の施行によりそれまで所管していた京都市圏域について京都市が所管することになりました。平成 17 年 6 月には京都府ひきこもり相談支援センターの設置（平成 22 年 5 月に京都府家庭支援総合センターに移管）、平成 18 年 12 月から自殺相談を開始し、平成 21 年 10 月に自殺ストップセンターの設置をしております。センターは 2 課制を取っており、相談指導課と医療福祉課があります。

私は昨年 4 月に保健所から異動してセンターに配属されました。最初の仕事は、東日本大震災の被災地支援に京都府こころのケアチームのメンバーとして派遣されたことでした。精神科医師、看護師と共に福島県で活動させていただいたのですが、避難されている住民の方々や被災市町村職員・保健所職員のこころのケアに携わることができました。

所属している相談指導課での業務は、保健所・市町村・関係機関に対する技術支援や技術指導、教育研修、普及啓発事業、こころの相談電話からつながった方に対する面接相談、調査研究、自助グループに対する組織育成、特定相談として、依存症・アルコール関連問題等相談指導事業、京都府こころの健康推進員（精神保健福祉のボランティア）の養成講座や研修、自殺対策関連の研修や普及啓発、センターに設置されている自殺ストップセンターへの技術支援等を実施しています。センターに来てから感じたことが、企画した研修の参加者の顔ぶれが以前に比べて多様化していることでした。相談支援事業所や地域包括支援センターの職員の方々が積極的に参加されている姿が見られ、精神保健福祉に関わる支援者の拡がりを感じます。また教育研修の講師や発表者に京都精神保健福祉士協会で友人となった PSW の方々にずいぶんお世話になっています。センターに来て、人間関係が大切な社会資源だと改めて実感しています。

最後になりましたが、国においては、「今後の精神医療保健福祉等のあり方検討会」において、保護者制度を始め、様々な議論がされているところです。センターも時代の要請とともに形を変え、地域や医療機関で働く行政や関係機関のニーズに合った技術支援や教育研修の企画を求められています。そんな中で、しなやかにそしてしたたかに働くことができる PSW を目指していきたいと思います。個人的には、保健所と比べると外に出掛けることが少なくなり、また車通勤になったことから 2 年間で体重が 6 キロも増加しました。目下の悩みはどうやってダイエットしようかと考えています。良いお知恵がある方はアドバイスください。今後とも公私共々よろしくお願いいたします。



【2012 年度 第 1 回 役員会開催報告】

日 時) 2012 年 5 月 23 日 (水) 19:00～22:30

会 場) 高木神経科医院

進行) 物 書記) 大塚

出席者) 上田・大塚(遅刻)・斉藤・下村・知名・西村・畚野・藤井・堀田・物
森田・渡辺

【2012年度 第2回 役員会開催報告】

日 時) 2012年6月27日(水) 19:00~23:00
会 場) 高木神経科医院 進行) 物 書記) 大塚
出席者) 上田・大塚・斉藤・下村(遅刻)・知名・西村・畚野・藤井・堀田・物
森田(遅刻)・渡辺

概要報告をHPに掲載しています→<http://kyo-psw.org/member/kapsw/yakuinkai.php>

トピックス紹介

—最近の役員会では、北部での研修・交流の場について話し合っています—

北部の会員さんより、近くの方と知り合いになれる機会があったら良いなあといったお声をいただきました。役員会としても、北部での研修や交流の場の企画ができるかどうかについて検討していきたいと考えています。北部の会員の皆さまから、是非ご意見やアイデアをいただければと思っています。また、「こんな集まりをやっているので、参加してもらって良いよ!」「企画に協力するよ!」という方がおられましたら事務局までご連絡ください。

【事務局からのお知らせ】

会員の動向

[入会]

辻森 あゆみさん (所属) 京都府公立大学法人 京都府立医科大学付属病院
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 番地
TEL) 075-251-5235 fax) 075-251-5241

茶谷 友一さん (所属) 京都府南丹東保健所
〒625-0036 舞鶴市字浜 2020
TEL) 0773-75-0856 fax) 0773-76-7897

藤賀 史子さん (所属) 京都市右京区役所 福祉部 保護課保護第6係
〒616-8511 京都市右京区太秦下刑部町 12
TEL) 075-861-1481 fax) 075-861-9559

白坂 真也さん (所属) 医療法人鳳凰会 近藤診療所

福井 千賀子さん (所属) 公益社団法人 京都保健会京都民医連 太子道診療所
2012年7月25日現在 会員数 366名

[所属変更]

藤ノ木 暢子さん (所属) 京都府立丹波支援学校 寄宿舎 を追加
〒629-0154 南丹市八木町柴山坊田 118
TEL) 0771-42-5185

巖 弥生子さん (新所属) 瀬尾クリニック
〒600-8493 京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町 18
ヒラオカビル 2F
TEL) 075-253-6962 fax) 075-253-6964

河村 理恵さん (新所属) なし

清水 一平さん (新所属) 財団法人長岡記念財団
相談支援事業所・地域活動支援センター アンサンブル

[所属名称変更]

安藤 俊輔さん・松井 基さん

(新) 一般財団法人療道協会 西山病院 デイケア

(旧) 財団法人療道協会 西山病院 デイケア

沖 裕美さん・木下 未来さん・栗林 彩さん

(新) 一般財団法人療道協会 西山病院 医療福祉相談室

(旧) 財団法人療道協会 西山病院 医療福祉相談室

坂根 徹也さん・中村 千絵さん・山本 友香梨さん

(新) 医療法人医誠会 東舞鶴医誠会病院 医療相談室

〒625-0007 京都府舞鶴市字大波下 765-16

(旧) 医療法人医誠会 東舞鶴病院 医療相談室

[氏名・所属変更]

川端 昌子さん

(旧姓) 井口 昌子さん

(新所属) なし

会費納入のおねがい

2012 年度会費 4,000 円（きょうと通信郵送利用の方は郵送負担料 1,000 円）のお振込みはお済みでしょうか？年々、会費をお納めいただけない方が増えております。

会費未納がある方には、来月初旬にお届けする 2012 年度会員名簿に、会費振込用紙を同封する予定ですので、お納めくださいますようお願いいたします。

協会は会費によって運営されていますので、ご理解・ご協力下さい。

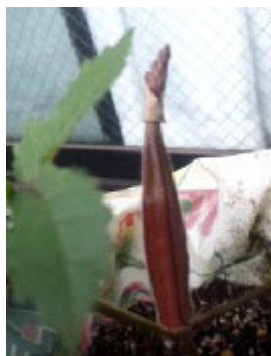
郵便振替口座番号 : 00960-7-120392

口座名義 : 京都精神保健福祉士協会

年会費 : 4,000 円 (※ 通信郵送負担料 : 1,000 円)



ほっと一息コーナー



最近、暑い日が続いていますね…。

先日、友人から「紫のオクラ作ってみる？」と苗を貰いました。どんなオクラになるやら半信半疑のまま土の袋を買いに行って、底に爪楊枝でブスブスと穴をあけ、そのまま植え付け。水をあげたら自然に育つ。手がかからなくて楽チンです。

育ったのは鮮やかな赤紫のオクラ♪

生食も可ですが、茹でるとみるみる深緑に変身！

見ているだけで楽しめます♪

ネバネバの食材は、夏バテ防止にいいと言われてますが、他に「最後まで粘ってがんばる」という縁起をかつがれることもあるようです。

たくさん育てて今年の夏は私の夏バテ防止には一役かって貰おうと思ってます。
みなさんはなにか育てていらっしゃいますか？ (西山高原工作所 松井)

【編集後記】

暑さに負けないように日々過ごしたいものです。みなさん、お体に気をつけてお過ごしください。(松井)

今号より、例会・研修案内が目立つようアレンジしてみました♪
皆様のご参加、お待ちしております！(中野)